



屯田



【すぐーる配信】

令和6(2024)年10月29日

学校便り 特別号
札幌市立屯田小学校

全国学力・学習状況調査の結果について

日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、本年度4月、全国の6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果をお知らせいたします。個別の調査の結果については、6年生の各家庭に通知表と共に9月末にお渡ししています。

【分析の考え方】

国語、算数の学力調査結果および学習や生活の様子に関する質問紙調査結果について記述しています。

本調査によって測定できるのは、児童の学力の一つの側面であります。今回の調査結果を分析することで、本校児童の学習状況の傾向や課題を明らかにし、今後の教育課程編成や教育活動の改善に生かしてまいります。

【学力状況についての調査結果から】 【国語】

本校の概要

【内容】

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」
▶全国平均よりも下回っている。
- 「話すこと・聞くこと」
▶全国平均よりも下回っている。
- 「書くこと」
▶全国平均よりも下回っている。
- 「読むこと」
▶全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

今回の調査における課題

- 漢字を文の中で正しく使うこと。
- 文の中における主語と述語の関係を捉えること。
- 目的や意図に応じて、伝え合う内容を検討すること。
- 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
- 物語の中の人物像を具体的に想像すること。

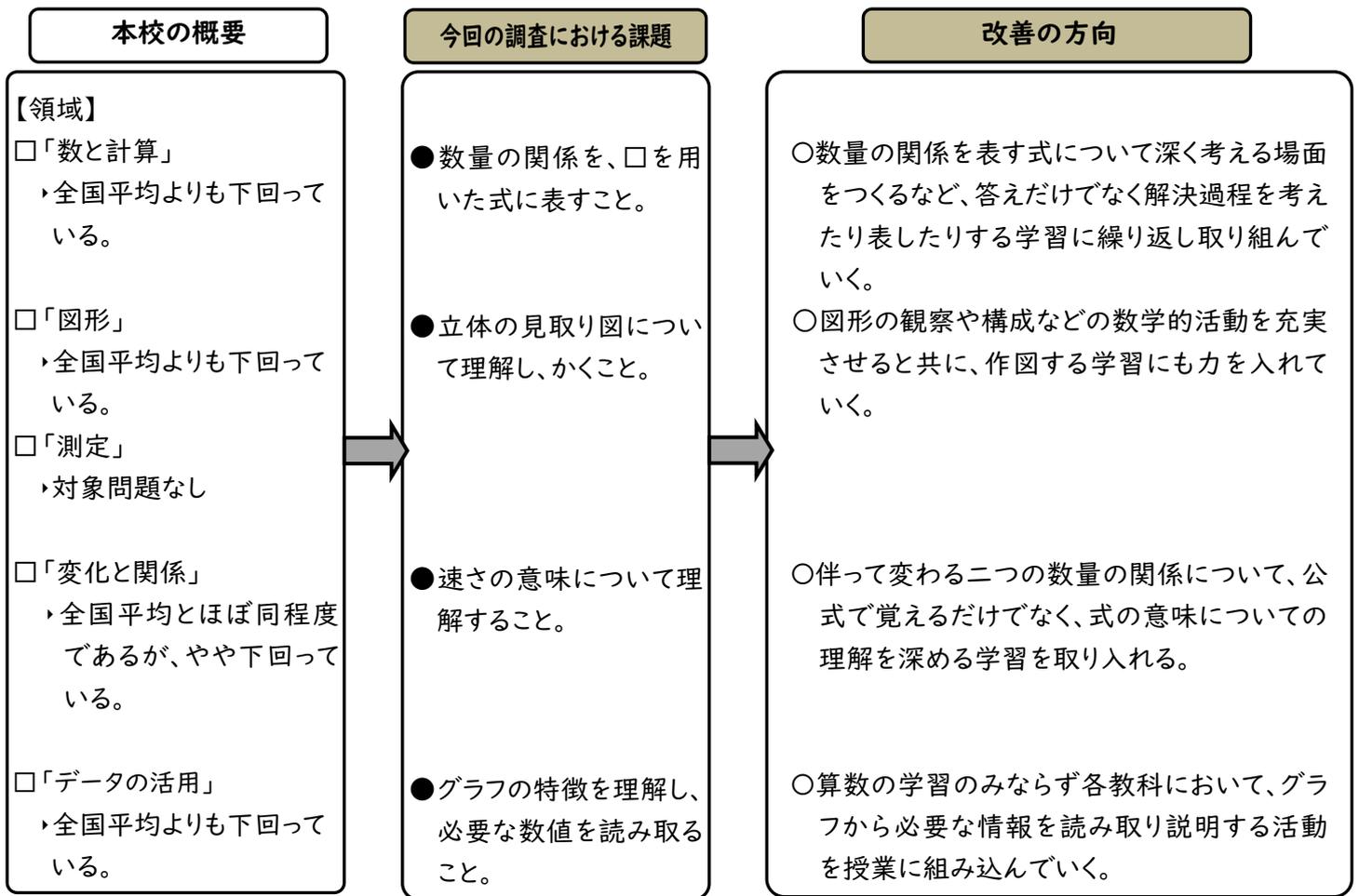
改善の方向

- 漢字ドリルを効果的に使い、各学年において学年別漢字配当表に示されている漢字の読み書きを定着できるようにする。
- 各教科の学習や読書などを通して、多くの文章に触れる機会をつくる。
- 様々な学習場面におけるテーマに沿った話し合い活動を通して、話題を決めたり、集めた材料を分類したり関係付けたりしながら伝え合う場をより多くつくっていく。
- 感想文や意見文を書く活動を通して、事実と感想、意見とを区別して書くなど、読み手に伝えることを意識して作文できるように指導していく。
- 国語の学習や読書を通して、物語の世界に浸る場を多く創出する。

【全国の平均正答率と比較して、以下の規準でお伝えしています】

- ・+3.1ポイント以上 →「全国平均よりも上回っている。」
- ・+3.0ポイントの範囲内で全国平均以上 →「全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている」
- ・全国平均正答率と同じ →「全国平均と同程度である。」
- ・-3.0ポイントの範囲内で全国平均以下 →「全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている」
- ・-3.1ポイント以下 →「全国平均よりも下回っている。」

【学力状況についての調査結果から】 【算数】



【学習や生活の状況についての質問紙から】

全国と比較して差異の大きい質問、本校の児童の傾向が顕著に見られる質問について記述しています。

○肯定的な回答割合が全国と比べて多いといえる質問

①『将来の夢や目標を持っているか』

●肯定的な回答割合が全国と比べて少ない質問

②『普段、どれくらいの時間、テレビやスマホを使用したゲーム、SNSや動画視聴をするか』

③『自分によいところはあるか』 『先生、あなたのよいところを認めてくれているか』

分析、改善に向けて

- ①本校では、今年度の重点目標として「夢・あこがれに向かう子の育成」を目指して教育活動を行っているところです。今後も6年生のキャリア教育「未来へのステップ」をはじめ、様々な活動を通して心をふるわす体験ができる場の創出を図っていきます。
- ②平日のテレビゲームやスマホの使用時間が長い児童の割合が大変多くなっています。ぜひ、ご家庭での使用状況を確認し、使用時間に制限を設けるなど、改めてお子さんと使い方について話し合っていただければと思います。また、併せましてSNSを介したトラブルの未然防止のために、ネットモラルについても指導してください。
- ③変化の大きい今の時代に、自分らしく自信をもって生きていくためにも、自己肯定感を育むことはとても重要です。ただ、何でも褒めて育てれば身につくというものではありません。そこで、学校教育全般を通して、困難や問題を前にしたときに、子どもたちが自分で解決方法を考え、試行錯誤しながら行動する経験を積み上げていけるようにしたいと考えています。また、その上で、自己決定をした結果ではなく過程を認めて、自己肯定感を高めていけるように関わっていきます。